

ダイアリー

(株式会社ハート&アート)

1 施設の概要



定員	生活介護 8人 自立訓練(機能) 20人
所在地	さいたま市見沼区南中野 930-1
アクセス	大宮駅からバスで15分
連絡先	TEL: 048-682-2151 FAX: 048-682-2154 e-mail: diary@heart-art.co.jp
開設日	2019年6月1日 機能訓練 2020年4月1日 生活介護
開所日時	月曜日～金曜日(祝祭日開所) 機能訓練 9:30～16:30 生活介護 9:30～15:30
平均年齢	平均: 機能訓練 48歳 生活介護 24歳 最年少: 機能訓練 21歳 生活介護 19歳 最年長: 機能訓練 65歳 生活介護 36歳
送迎	機能訓練: さいたま市および自主通所可能な範囲 生活介護: 施設から半径6km以内
食事提供	あり(1食あたり普通食600円の)

供	負担あり)	
入浴	生活介護あり	
車いす	受け入れ可	
医療的ケア	吸入	受け入れ可
	喀痰吸引	受け入れ可
	気管切開	受け入れ可
	カニューレ使用	受け入れ可
	胃ろう	受け入れ可
	経鼻経管栄養	受け入れ可
	導尿	受け入れ可
	膀胱(留置)カテーテル	受け入れ可
	その他	
その他設備	エレベーター	なし(平屋)
	ユニバーサルシート	
	(大人用ベッド)	あり



2 施設の運営方針・理念



代表取締役・作業療法士 茂木有希子

共生・多機能型デイサービス ダイアリーは「心につれる、心をつなぐ、心が生きる」という理念のもと、全年齢対象に平屋の一つ屋根の下に4部門を構えています。

障がいや病気を抱えながら住み慣れた場所で生活し続けるには、「楽しさ」や「優しさ」だけではなく、対象者の方々の気持ちを理解するための「心」と生活をコーディネートし再建するための「技術」を持った人たちとの出会いが、人生を変えるかもしれません。

会社名である「ハート&アート」はこの「心と技」を意味しています。施設名である「ダイアリー」は、過去、現在、未来と対象者の方々に流れる時間を、自分一人または家族の力だけでは上手くつなげなくなった場合に、過去と現在、現在と未来をつなぐ橋のような存在です。その日一日を記録と記憶に刻み、明日を迎えられるようにという意味から「ダイアリー＝日記帳」という施設名が生まれました。

施設は大きく分けて、障害福祉部門と介護保険部門に分けられます。障害福祉部門は1歳～18歳の児童発達支援・放課後等デイサービスに通われる方々と高等学校を卒業して65歳までの生活介護、自立訓練(機能訓練)に通われる方々がいらっしゃいます。介護保険部門は40歳以上の方々が自立支援を目的に通われています。

施設全体のスタッフの3分の2はリハビリテーションの有資格者(作業療法士、理学療法士、言語聴覚士)と看護師であり、生活の中、家族の中、地域の中で、対象者に必要なもの・ことを共に考え、伴走していくような関りを実践しています。

3 事業内容の紹介

自立訓練(機能訓練) モア・リハステーション



18歳～65歳で「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」「特定医療費(指定難病)受給者証」のいずれかをお持ちの方々が、社会復帰(復職、家庭の役割など)の明確な目的のある方々が、標準利用期間(1年6ヶ月)の間、作業療法士・理学療法士・言語聴覚士と集中して機能訓練を行う場所です。

訓練内容は、身体的リハビリテーション、身体機能の維持・回復、高次脳機能障害に対する社会生活力プログラム、社会参加、社会復帰に対するリハビリテーションなど様々ですが、基本的には個別での訓練、2～3人のグループ訓練を1回につき3時間かけて行います。訓練に慣れてきた方は自主的に訓練できるように練習していきます。

また、社会復帰の足掛かりとして、レジニアクセサリーを作り販売したり、ピアノを練習したり、対象者に応じたプログラムを実施しています。

就労に向けたプログラムでは、施設内での模擬就労やボランティアを経て、ステップアップしていくプログラムを組んでいます。

生活介護
ピア・リハステーション



18歳～65歳で「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」「特定医療費（指定難病）受給者証」のいずれかをお持ちの方々に、障害支援区分5、6に認定されている身体障害(医療的ケアを含む)を主とした方々の社会生活の場所です。

日常生活支援（食事・排泄・入浴）をはじめ、理学療法士・作業療法士による生活に必要な機能訓練、日中活動（生産活動、レクリエーション、散歩、お誕生日会、屋外活動、スヌーズレン、買い物）等を行っています。

生産活動ではレジンやプラバンを使ったヘアゴム、ヘアピンなどのアクセサリやキーホルダー、トートバックやボールペンなどの雑貨製作に取り組み、販売しています。

対象者の生活に応じて入浴や機能訓練の時間を設け、他部門とも交流しています。

朝の会では機能訓練部門の利用者の方々と一緒に体操を行うなど活気があります。

4 事業の紹介写真

自立訓練(機能訓練)



片手でのピアノの連弾練習。
「障害者週間」にて披露しました。



レジンアクセサリーの製作風景。すべてオリジナルです。



施設玄関での販売ブース。大人向けのアクセサリーも人気です。

生活介護



製作活動風景。マンツーマンで集中。



世界で一つのキャンバストートバッグ。一つ一つ利用者の方々の感性で描いた作品が彩られたバッグは大人気です。



個性豊かなクリエイターたちが活躍しています。



理学療法士との個別での訓練風景。少しでも楽な姿勢を目指します。

5 施設の年間の行事



行事名：お誕生日会
 時期：利用者の誕生日に合わせて
 場所：ピア・リハステーション
 内容：おやつ、バースデイカードを作り、誕生日会を開催します



行事名：七夕
 時期：6月最終週～7月7日
 場所：共生・多機能型デイサービス ダイアリー
 内容：短冊に願いを書き、施設正面玄関の笹に飾ります



行事名：クリスマス
 時期：12月25日
 場所：共生・多機能型デイサービス ダイアリー
 内容：飾りつけ、合奏、クリスマスケーキを楽しみます



行事名：父の日、母の日
 時期：父の日、母の日に合わせて製作
 場所：ピア・リハステーション
 内容：父の日、母の日に手作りの作品を贈ります



行事名：季節の共同壁画
 時期：春・夏・秋・冬
 場所：障害部門側廊下
 内容：四季に合わせて、児童、障害、介護の部門全体で一つの壁画を制作し、廊下を彩ります

6 施設の自慢・特色



児童発達支援（1歳程度～）から通所介護（90歳代）までが部門分けされた平屋で自由に行き来しながら生活や訓練を行っています。



介護されるご家族のための仮眠室を設けています。24時間の医療的ケアで十分な睡眠がとれない親御さんや機能訓練の送迎のご家族が少しでも休めるように設置しています。



地域の方々にも開放しているコミュニティスペースがあります。ご利用者やご家族、ご近所の方々、学校帰りの子供たちなどが自由に使える地域交流の場です。1800冊以上の漫画本は貸し出しもしています。



土曜親子講座を開催しています。障害者の生活について当事者が語り、実際に当事者とともにご飯や更衣動作、移動や移乗などの介助方法を学びます。

看護師が常勤配置されており、医療的ケアの必要な方々も受け入れています。



教育現場にて障害当事者が講師を務め、障害についての理解を深めたり、障害者に対する物理的、心理的なバリアを取り除く活動を行っています。



生活介護や機能訓練で制作したアクセサリ等、障害の方々が描いた絵画をカレンダーやクリアファイルにしたものをマルシェで販売しています。



生活や仕事に必要な公共交通機関の訓練を行っています。電動車椅子や杖、歩行器での移動、運転の再開など移動の方法について一緒に考え、実践しています。

アクセサリ販売までのラッピング、経理処理などすべて利用者の方が行います。

中途障害(脊髄損傷や頭部外傷、脳血管障害等)、高次脳機能障害の方々への専門的な訓練を行っています。



障害特性に応じた製作を行っています。

口や足を使った絵画、麻痺手の訓練としての切り絵など訓練を兼ねて独創的な作品を作り出インターネットなどを通じて販売しています。

7 法人が運営しているその他の施設

株式会社 ハート&アート

①

リハビリ&デイサービス ダイアリー	
所在地	見沼区南中野 930-1
施設類型・定員数等	通所介護（要介護 1～5、難病を含む身体障害、40歳からの第2号被保険者を中心に40名の定員）

②

チルドレンズ・リハステーション ダイアリー	
所在地	見沼区南中野 930-1
施設類型・定員数等	児童発達支援・放課後等デイサービス（医療的ケア児を含む1日5名の定員）